



### 《 役員体制 》

- |              |                         |
|--------------|-------------------------|
| 【会 長】        | 原田 正樹 (日本福祉大学)          |
| 【副会長】        | 池田 幸也 (常磐大学) [組織担当]     |
|              | 田村 真広 (日本社会事業大学) [研究担当] |
| 【理 事】        |                         |
| 事務局長         | 諏訪 徹 (日本大学)             |
| 事務局次長        | 齊藤 ゆか (神奈川大学)           |
| 機関誌担当委員長     | 松本 すみ子 (東京国際大学)         |
| 機関誌担当副委員長    | 菱沼 幹男 (日本社会事業大学)        |
| 雑誌担当編集長      | 村上 徹也 (市民活動コンサルタント)     |
| 雑誌担当副編集長     | 市川 享子 (明治学院大学)          |
| 研究倫理担当       | 津田 英二 (神戸大学)            |
| 大会担当         | 新崎 国広 (大阪教育大学)          |
| ネットワーク担当(総括) | 野尻 紀恵 (日本福祉大学)          |
| ネットワーク担当(学校) | 奥山 留美子 (山形県立高島高等学校)     |
| ネットワーク担当(社協) | 高橋 良太 (全国社会福祉協議会)       |
| 広報担当         | 佐藤 陽 (十文字学園女子大学)        |
| 【監 事】        |                         |
|              | 上野谷 加代子 (同志社大学)         |
|              | 渋谷 篤男 (全国社会福祉協議会)       |



### 日本福祉教育・ボランティア学習学会は

市民社会を形成し、共生の文化を育むことをめざしています。

福祉教育・ボランティア学習について、さまざまな立場で活動・研究している関係者が一堂に会して、その価値や領域、推進方法や評価などについて学際的・実践的な研究をしていくために、1995年10月に設立されました。

### ■学会会則 第3条 [目的]

本会は、会員相互の連絡と協力、関係学会等との連携と交流を図り、福祉教育・ボランティア学習に関する研究と実践の発展に資することを目的とする。

### 日本福祉教育・ボランティア学習学会

#### 【 入会のご案内 】

#### ～学会入会についての特典及び会費～

- 日本福祉教育・ボランティア学習学会の年会費は正会員 8,000 円、賛助会員 10,000 円、団体会員 10,000 円です。入会金は 1,000 円です。
- 会員は、学会の運営に関し総会において意見を述べるすることができます。また、研究紀要その他の刊行物の配布を受け、また研究大会において研究成果を発表し、研究紀要等に寄稿することができます。入会希望者は入会申込書を学会事務局に送って下さい。
- 福祉教育・ボランティア学習に関する研究と実践を行い、関心を有する団体は、団体会員として加入していただくことができます。詳細は、本学会ホームページの「入会のご案内」をご確認下さい。

### 市民社会の形成と共生文化を育む

# 日本福祉教育・ボランティア学習学会



### 日本福祉教育・ボランティア学習学会事務局

〒162-0845

東京都 新宿区 市谷本村町 3 番 27 号

ロリエ市ヶ谷3階

TEL 03-5227-7101 FAX 03-5227-7102

※電話対応は火・木曜日の 10:00～16:00 のみ

Eメール jimukyoku@jaass.jp

ホームページ <http://www.jaass.jp/>

2016 年 12 月現在

# 学会活動内容



## 【研究プロジェクト】

課題別研究は、先駆的でタイムリーなテーマについて毎年1つの研究チームを編成し、調査研究を大会ごとに中間報告し、4年目に研究成果を研究紀要の特集等に発表する。常に3つの研究プロジェクトが同時進行し、新しい研究発信と共に、会員の研究の質を深め、実践者と研究者が新たな繋がりを築く機会になっています。

### ※これまでの主な研究テーマ※

- 地域を基盤とする福祉教育プラットフォーム
- 学校教育における福祉教育・ボランティア学習の役割と可能性
- 福祉教育・ボランティア学習におけるリフレクション・プログラム
- 福祉教育とメンタルヘルス
- いのちの持続性と福祉教育・ボランティア学習
- “サロン”の可能性を探る福祉教育・ボランティア学習
- 青年期における福祉教育—高大接続—
- シニア世代と共にコミュニティを拓く～シニアボランティアの育成に向けて～
- 『合理的配慮』は福祉教育・ボランティア学習を生み出すか 等

## 【学会ニュース/学会ホームページ】

学会ニュースは年3回発行し、ホームページは随時更新し、学会活動や関係情報等を掲載し、会員相互の理解と学会活動を促進しています。

## 【地区活動】

全国6ブロックから特任理事を選出し、会員の実践や研究活動を促進し、会員拡大に取り組み、各地で実施される福祉教育・ボランティア学習活動を共催し、実践や研究活動の充実と、大会実施や地区ごとの学習活動に繋いでいます。

## 【他学会との連携】

日本学術会議、日本社会福祉系学会連合、教育関連学会連絡協議会、ソーシャルケアサービス従事者研究協議会、全国社会福祉協議会等と連携し、学際的・実践的な研究活動が深められるよう情報交換をしながら取り組んでいます。

## 【 全国大会 】

- 設立大会 東京大会  
福祉教育・ボランティア学習の研究と学会活動のあり方を探る
- 第2回 東京大会  
福祉教育・ボランティアを通して何を学び、何を伝えるのか  
～福祉教育・ボランティア学習の理論化と体系化をめざして～
- 第3回 大阪大会  
人・いのち・地域—教育の危機に立ち向かう
- 第4回 長崎大会  
こころ・学び・動き—私が変わる、地域が変わる
- 第5回 千葉大会  
21世紀へのカウントダウン  
—新しい座標軸を求めて— 個人・家庭・地域・社会そして教育・文化
- 第6回 岐阜大会  
新時代の福祉教育・ボランティア学習を拓く—総括と展望
- 第7回 栃木大会  
新世紀の福祉を創る  
～地域でのくらしを築く福祉教育・ボランティア学習～
- 第8回 ひろしま大会  
新しい公共の創造  
—市民参加型社会を拓く福祉教育・ボランティア学習—
- 第9回 とやま大会  
新しい「つながり」づくりと豊かな人間形成をめざして  
—福祉教育・ボランティア学習を通して守るべきもの、変えるべきもの—
- 第10回 かながわ大会  
福祉教育・ボランティア学習の価値と展開  
—地域からの発信！市民社会をいかに創造するか—
- 第11回 こうべ大会  
ともに創ろう共生の社会—被災地からの学び—
- 第12回 埼玉大会  
人と人を結び ぎずなを紡ぐ 新しい社会観づくりをめざして
- 第13回 静岡大会  
福祉と教育のつながりを深め、豊かな市民社会を創る
- 第14回 徳島大会  
福祉教育・ボランティア学習の昨日・今日・明日、市民社会の創造とその実現を目指して
- 第15回 あいち・なごや大会  
福祉教育・ボランティア学習の近未来を展望する  
—共生文化創造への途—
- 第16回 ぐんま大会  
福祉教育・ボランティア学習の新たな価値を探る  
～ノーマライゼーションの発展に向けて～
- 第17回 京都大会  
ボランティアリズムから問う福祉教育・ボランティア学習の原点  
～大震災の年に改めて考える実践・研究のあり方～
- 第18回 いばらき大会  
大震災から問い直す「福祉教育・ボランティア学習」のちから  
～かたる・つなぐ・くらし～
- 第19回 いしかわ大会  
実践と学びのコミュニティを拓く  
—ま～ぜて い～いよ、みつけよう—



## 第20回 とうきょう大会

福祉教育・ボランティア学習の新機軸  
～孤立をのりこえて希望のある社会へ～

## 第21回 やまぐち大会

福祉教育・ボランティア学習の底流にある意義を探る  
～学び合う場の創造を目指して～

## 第22回 みやざき大会in都城

子どもの育ちから考える福祉教育・ボランティア学習の力  
～はぐむ、ささえあう、ともに生ききる～

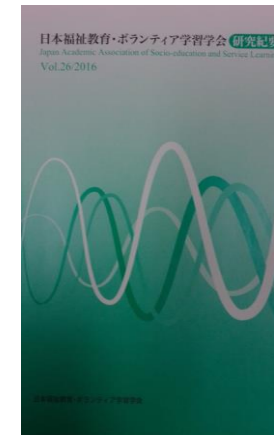
## 【雑誌「ふくしと教育」監修】



福祉教育・ボランティア学習の実践交流、促進、発展をめざした雑誌として学会が監修して創刊。

会員だけでなく、小中、高等学校や地域、社協等さまざまな福祉教育・ボランティア学習実践の交流の機会になり実践の輪が広がるよう心がけています。

## 【研究紀要の発行】



会員が研究について積極的に投稿ができるよう年二回発行しています。

6月発行の研究紀要は、自由投稿論文が中心で、査読体制も充実させています。

11月発行の研究紀要は、学会の課題別研究を特集し、そのテーマごとに論文を公募し、会員がさまざまなテーマに関心をもち、研究に臨めるよう心がけています。